

第 1 回調布市教育プラン策定検討委員会 次第

日時：令和 8 年 6 月 3 0 日（火）

午後 6 時 3 0 分から

場所：教育会館 3 0 1 ・ 3 0 2 研修室

1 教育長あいさつ

2 委員紹介

3 委員長・副委員長の選任

委員長 神永 典郎氏（白百合女子大学教授）

副委員長 高橋 慎一氏（教育部長）

4 事務局説明

5 質疑、意見交換等

6 次回日程等

資料

- (1) 資料 1 調布市教育プラン策定検討委員会委員名簿
- (2) 資料 2 調布市教育プランの位置づけ、現行プランの体系等
- (3) 資料 3 現行調布市教育プランの取組成果
- (4) 資料 4 市を取り巻く環境・教育政策の動向
- (5) 資料 5 次期調布市教育プランの策定方針
- (6) 資料 6 次期調布市教育プラン計画期間における教育課題の概要
- (7) 資料 7 次期調布市教育プラン体系（案）
- (8) 資料 8 子ども・保護者等からの意見聴取についての方針
- (9) 資料 9 次期調布市教育プラン策定スケジュール（案）

(10) 資料10 調布市教育プラン策定検討委員会設置要綱

<議事内容>※ 社会教育に関する部分を抜粋

- ①社会教育計画と統合した形で次期教育プランを作成することのだが、その経緯は。
- ②部活動の地域移行について。現状は、学校の中の活動が9割以上であるが、将来的には社会の中で抱えていく問題であり、社会教育の範囲かと考えている。プランでは、（施策5）魅力ある学校づくりの推進の施策として計画しているが、例えば（施策8）青少年の育成として位置付けても良いのでは。
- ③（施策10）地域ゆかりの文化の保存と継承の主要事業36で、主な取組で消されているところで、学校教育の学習内容に則した出前授業については大変有意義な取組だと感じている。今後充実させる方向で継続してほしい。
- ④出前授業について。社会教育委員の会議で話題となった。郷土博物館は出前講座を積極的に実施したいとの思いがあり、出前授業をやりたいと思っている学校もいるし、出前授業を知らない学校にはぜひ提案したいと思う。
（施策10）主要事業36の主な取組で消されると、取組として弱くなる印象を受けるので記載を残すことを検討して欲しい。
- ⑤（施策8）青少年の育成の主要事業28で中学生海外体験学習事業について。昨年度から始まって非常に良い取組であり、事業を継続してほしいと思っている。初年度と2年目で、校長や教員の引率が求められている。始まって間もない、もちろん学校教育の延長として、それも必要かなっていうことは理解しているが、むしろ学校から1歩退いた中で子供たちがそこで伸び伸びと活動する、緊張しながらですね新しい体験をしていくということを後押していく方が体制の方が大事かと思っている。
- ⑥（施策6）安心安全な学校づくりの推進で、学校施設整備の推進の関連になるが、災害・緊急時のときの対応について、教育委員会と地域との統一見解や連携を盛り込んで欲しい。
- ⑦（施策8）青少年の育成の主要事業28で中学生海外体験学習事業について。事業に参加していない人たちに、今後この生徒の経験をどう伝えていく

か、取組の成果の発信についても、社会教育委員の中でも話し合っ
てプランに入れて欲しい。